

開催されたUC Davisの同窓会総会に、UCLA同窓生有志が参加されました。その有志の方から、3名のUC Davis同窓生の方が、研究機関の知財部や特許事務所に在籍していることを、伺いました。私、横内謙二は、現在、特許事務所に勤務する弁理士であるとともに、受験機関（資格予備校）にて弁理士講座の講師をしています。UC Davisの知財関係者には、現在、弁理士試験の受験勉強中の方もいらっしゃるって、それならば、UC知財の会と称して、弁理士試験や知的財産に関して情報交換をする場を設けて集まろうということになりました。



横内謙二さん（左から一人目）

第1回会合では、まず、最初の1時間弱、弁理士試験のための勉強会をしました。勉強会で取り扱ったテーマは、法律条文の読み込む手法です。一般に法律の条文は、想定される状況を記載もれなく記述するために、得てして長文となってしまう、初学者には難解なものとなることが多いです。しかし、法律を正確に理解するために、条文を読み込んで構成を理解することが基本であり、弁理士試験を突破するためにはもちろんのこと実務においても必須な事項となります。勉強会で取り扱った手法では、条文の原文から、枝葉となるものをどんどんと削除していき、条文の根幹となるものを抽出します。まず、抽出した根幹となる部分を理解した上で、削除した枝葉となる部分を順次戻しながら読んでいくことにより、条文原文の全体像を理解することが可能になります。

勉強会の後は、楽しく

知財情報交換をしました。各自の自己紹介に始めて、最近の知財業界の動向に話は弾みました。知財に関することですからここでは詳しく紹介できませんが、ある企業が有する特許の有効性についても議論したりしました。特許事務所の勤務弁理士である私にとっては、他の事務所のことを伺ったり、また、特許事務所とは別の形態で知的財産に関わっている方の活動を伺うことは、とても刺激になりました。知財をキーワードに今後も定期的に集まっていきたいと考えています。

UCLA同窓生の会員数も年々増加しており、同じ業界でご活躍の方もたくさんいらっしゃると思います。また、UCLAに限定せず、他のUCや他の大学の同窓生を含めると、より多くの方が同じ業界にいらっしゃるようになります。機会があれば、同じ業界の方同士で是非とも情報交換をする場をお作り下さい。楽しい交流とともに刺激を受けることが出来るかと存じます。

文責 横内謙二 (Ph. D. in Physics, 2002)

UCLA Club of Japanの話題



Twitterを開始しました 1月26日(水)

Twitterのアカウントを立ち上げました。UCLA日本同窓会ユーザー名はUCLAJAAです。Twitterのアカウントをお持ちの方は参加して同窓会活動に貢献してください。

UCLA Extension オープンハウス 7月26日(火)

UCLA Extension Tokyo Centerのオープンハウスが開かれました。UCLA Extensionは新しいパートナーとして河合塾と提携し西新宿で開講しました。社会人向けに質の高

い英語教育と、英語を本格的に習いたい方には実用的な授業を提供しています。

College Fairに出展 7月30日(土)

アメリカ大使館主催のCollege Fair of America Expo 2011が秋葉原で開催されUCLAは本校のAdmissions Officeに資料を送付してもらいブースを出しました。UCLAの知名度が高いだけにボランティアとして参加した活動幹事とUCLA在校生は大勢の中学生と高校生の対応に追われました。



America Expo 2011

高校生にUCLAを紹介 8月27日(火)

黒川会長がChairとCo-Founderを務められているImpact Japan (<http://impactjapan.org/>)の支援している高校生を対象としたHCJI主催 (Harvard College Japan Initiative) の8日間のプログラムの最終日のカレッジフェアでUCLAのブースを出し熱心な高校生たちの質問に答えました。